

レッサーパンダのからだ

監修 飼育展示課 / 企画・制作 動物解説員

※ 動物に エサをやったり おどろかしたりしないでね！

かんさつした日

20 年 月 日

天気

レッサーパンダをよく見て、○をつけよう！

みみ
耳は、どれ？



なが
いちばん長いのは、どこ？

どう あし 足 しっぽ

いろ
せなかは、なに色？

ちやいろ うす茶色 あかちやいろ 赤茶色 くる 黒

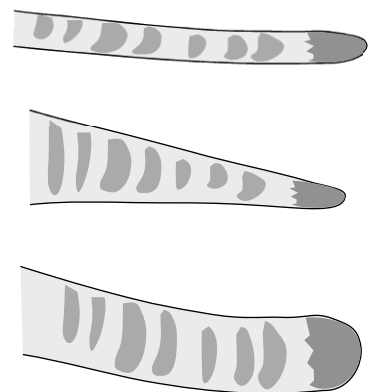
いろ
おなかは、なに色？

ちやいろ うす茶色 あかちやいろ 赤茶色 くる 黒

まえあし
前足は、どれ？



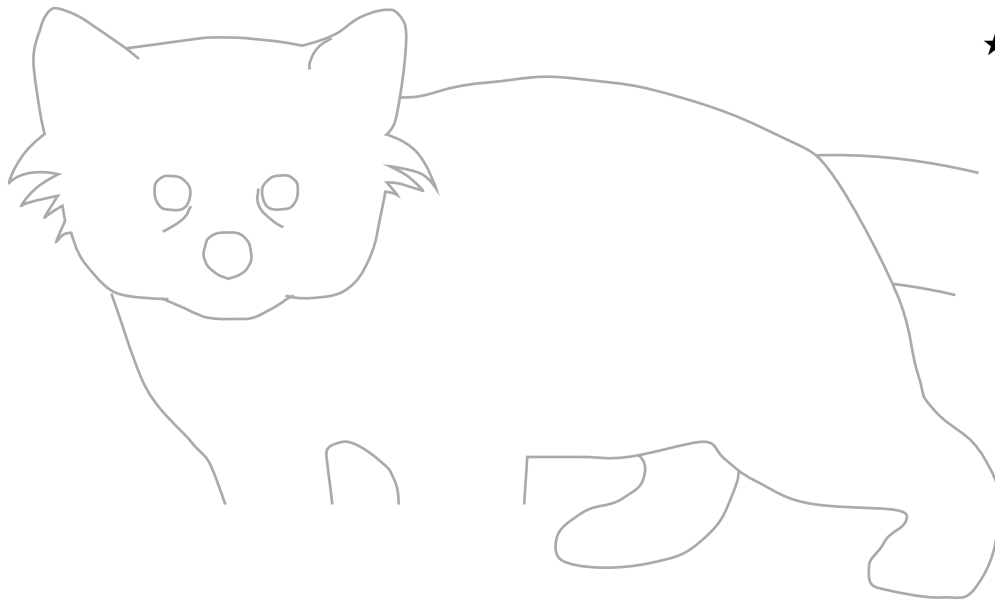
しっぽは、どれ？



おわったら、うらへ！

レッサーパンダをよく^みて、スケッチをかんせいさせよう！

★^{かお}顔のもようも、くわしくかこう。



★しっぽの^{なが}長さは、どれくらい？

★^{あしさき}足先に、つめもかきいれよう。

アライグマと、どこがちがうかな？

レッサーパンダは、アライグマとよく
まちがえられます。ちかい仲間^{なかま}ですが、
ちがうところいろいろあります。

アライグマ

^{はな}鼻の^{さき}先が、^{ほそ}細く
^でつき出ています。

^{ゆび}指が^{なが}長くて、
きょうです。



^{せなか}背中が、
もっこりしています。

レッサーパンダのからだ < 解説 >

監修 飼育展示課 / 企画・制作 動物解説員 / イラスト 松本晶

レッサーパンダ (食肉目レッサーパンダ科)

クマに近い肉食動物の仲間ですが、進化のとちゅうで、タケを食べるようになった動物です。ヒマラヤ周辺のタケが生えている森林に、すんでいます。

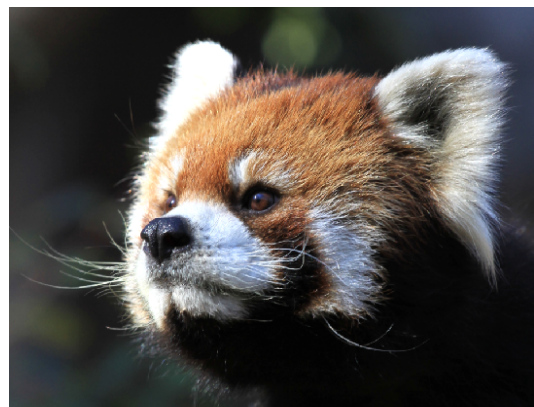
顔の特ちょう

顔の形

前から見ると、まるい顔です。顔の左右に、かたいタケの葉をよくかむための筋肉が、ついているからです。あごが短いので、横から見ても、頭ぜんたいが、まるみをおびています。

顔のもよう

目や鼻のまわりに、白いところがあり、特ちょう的なもようになっています。



耳

とがった小さめの耳です。内がわも毛がふわふわで、前から見ても後ろから見ても同じもようです。音には、とてもびんかんです。

目

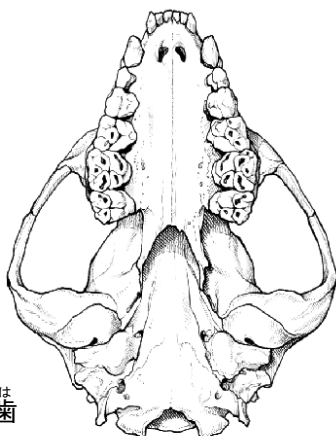
ほかの肉食動物と同じように、左右2つとも、前を向いてならんでいます。色はよく見えていません。

鼻

鼻の先は、イヌと同じように黒っぽく、しめっています。においには、とてもびんかんです。

歯

全部で38本あります。お<歯(臼歯)はかたい葉をよくかむためのデコボコした大きな歯になっています。



うわ 上あごの歯



からだ とく 体の特ちょう

しっぽ

木の上では、バランスをとるのにつかいます。
寒いときは、体をつつむマフラーになります。

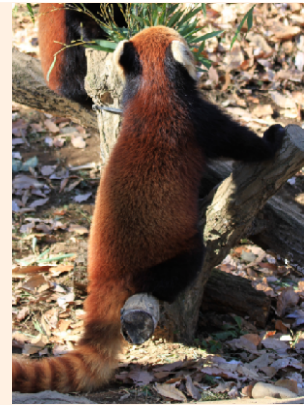
肛門腺

肛門のわきに、
においを出す
腺があります。



背中^{せなか}は赤茶色^{あかちやいろ}、
お腹^{なか}は黒い色^{くろいろ}、
そのわけは？

てきに見つからないため
の保護色^{ほごしょく}と考えられてい
ます。空からおそってく
るワシから見ると「土の
色^{いろ}」、木の上にいるとき
に下からおそってくる肉食動物^{にくしよくどうぶつ}から見ると「かげ
のような黒い色^{くろいろ}」になっています。



あし とく 足の特ちょう

足のうら

毛^けが密^{みつ}に生え
ています。足
のうらからも、
においのある
液^{えき}を出し、歩きまわることで、
自分のにおいをつけてマーキ
ングをすることができます。
歩くときは、足のうらの半分^{はんぶん}
くらいをつけています。



つめ

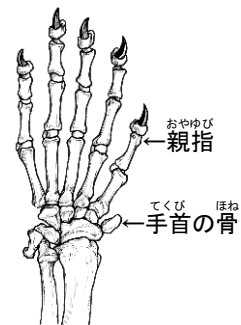
前足^{まえあし}も後ろ足^{うしろあし}も指^{ゆび}は5本^{ほん}あり、
すべてにとがったつめ（かぎ
づめ）が、ついています。



前足

物^{もの}をつかむときは、5本の
指^{ゆび}全部^{ぜんぶ}と手首^{てくび}の骨^{ほね}にはさん
で、つかみます。

ひだりまえあし ほね
左前足の骨
（上から見た図）



※骨格図は齋藤篤(2007)より改変

自由研究のすすめ

いろいろな絵をかこう

(1) いろいろな角度^{かくど}から見よう！

横^{よこ}から見ると、どんな顔^{かお}？ 後ろ^{うしろ}から見ると、どんなおしり？
ちがう角度^{かくど}から見ると、それまで気づかなかった特ちょう^{とくちょう}が見えてきます。

(2) 動き^{うご}やくらしと、かんれんさせよう！

木^きにのぼるとき、木^きをおりるとき、足^{あし}のつめを、どのようにつかっているかな？

しっぽは、なんの役^{やく}に立^たっているかな？

からだ^{からだ}の形^{かたち}を、「しぐさ」や「くらし」とかんれんさせながら、かんさつしましょう。